

新規事業候補箇所説明資料

一般国道357号
湾岸千葉地区改良(蘇我地区)

国土交通省
関東地方整備局

-
- 衛星写真
(C)PASCO/Includes material (C)JAXA
- 重厚長大産業
(鉄鋼製品)
- 化学製品産業
(素材・肥料)
- エネルギー供給拠点
(石油精製・石油製品)

（蘇我地区）
湾岸千葉地区改良



- 人口 : 96. 4 万人 (43. 0 万世帯)
- 面積 : 271. 76 km²
- 人口密度 : 4267. 4 人 / km²
- 可住地面積 : 220. 87 km²
- 高齢化率 : 24. 8 %

[人口/世帯/人口密度/高齢化率]
住民基本台帳(平成28年1月1日現在)
※人口密度は、平成28年1月時点の人口と可住地面積より算出
※高齢化率は、平成28年1月時点の人口総数と65歳以上人口より算出

〔面積・可住地面積〕
国土交通省土地・水資源局「土地所有・利用の概況」(2015年)

〔商業地域・工業地域〕
国土数値情報(平成21年)
〔大型商業施設〕
全国大型小売店総覧2017より千葉市内の面積1万㎡の店舗を図化

凡 例	
	高速道路
	直轄国道
	補助国道
	商業地域
	工業地域
	大規模商業施設 (面積1万㎡以上)

◆路線周辺の交通状況

箇所名	湾岸千葉地区改良(千葉地区)	湾岸千葉地区改良(蘇我地区)
	開通済	対象区間
都計	S44	S44
計画	幅員50m	幅員43、50m
現状	6車線	4車線 → 6車線
延長	5.6km	5.0km



一般国道357号 湾岸千葉地区改良(蘇我地区)に係る新規事業採択時評価

- ・渋滞ボトルネック解消により、円滑な物流が確保され、首都圏へのエネルギー供給や完成自動車輸送の生産性を向上
- ・交通容量の増加により、慢性的な渋滞・事故が緩和され、大型商業施設群への円滑・安全なアクセスに寄与

1. 事業概要

・起終点: 千葉県千葉市中央区塩田町
～千葉県千葉市中央区問屋町

・延長等: 5.0km
(第4種1級、6車線、設計速度60km/h)

・全体事業費: 約265億円

・計画交通量: 約59,100台
～約78,900台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約33,800台/日 ～約52,100台/日	約6,000台/日 ～約8,400台/日	約14,000台/日 ～約18,600台/日

2. 課題

①首都圏を支えるエネルギー供給のボトルネック

・首都圏経済・産業活動を支える千葉港は、石油製品の出荷額全国1位。(3.6兆円/年)
(図3)

・千葉地区6車線化によりガソリン輸送の時間短縮効果がある一方、残存する蘇我地区の渋滞遅延により、輸送エリア・輸送量とも変化がない状況。

・当該区間の混雑度は1.79と高く、旅行速度は千葉県内の国道357号でワースト1位
(事業中箇所を除く)であり、首都圏へのエネルギー供給のボトルネック。(図6)

②千葉港の物流出荷能力を阻害

・千葉港の完成自動車取扱量は全国第5位。(図5)

・陸揚後、モータープールから新車整備工場へ輸送されるが、千葉地区開通により茜浜工場への輸送台数が増加(150台/日⇒210台/日)する一方、蘇我地区の渋滞により茂原工場への輸送台数の効率性を阻害。(図4、6)

・今後、更なる千葉港拡張等の港湾機能強化が予定されており、課題の深刻化が懸念。

出典: 自動車輸送企業ヒアリング

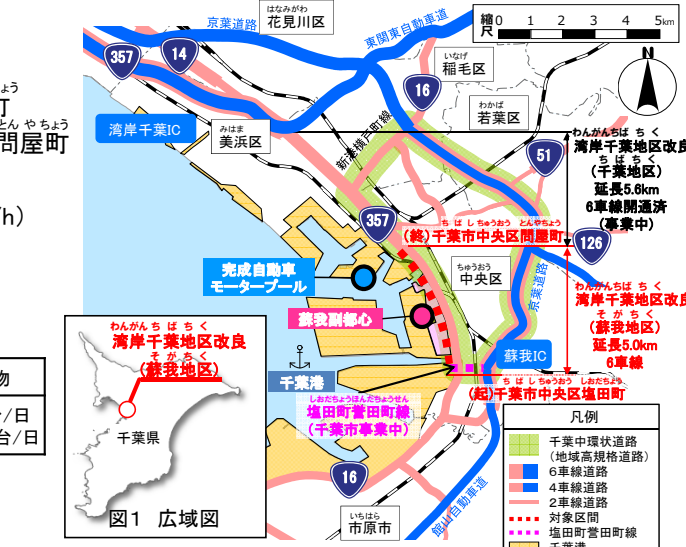


図1 広域図

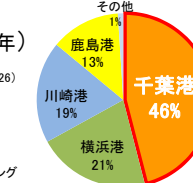


図2 事業位置図

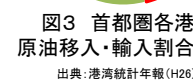


図3 首都圏各港原油移入・輸入割合



図4 千葉港の物流輸送の現状

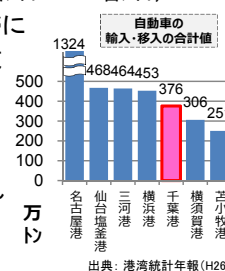


図5 完成自動車陸揚取扱量

③蘇我副都心「大型商業施設群」への円滑なアクセスを阻害

・蘇我副都心は、大規模商業施設等が集積し、年間2,000万人が来訪。
・蘇我副都心の商圏は、主に、市原・土気地域(40万人)であり、当該区間の渋滞により円滑なアクセスが阻害。

出典: 国勢調査人口(H27)

・また、渋滞に起因する追突事故が約6割を占め、事故危険区間に位置づけた箇所が6箇所あり、来訪者の安全性を阻害。

・当地区の未利用商業用地(約8ha)の活用により、来訪者増(年間400万人)が見込まれ、更なる渋滞の悪化が懸念。

出典: 千葉市ホームページ



図6 対象区間の交通状況(千葉地区開通後)

3. 整備効果

効果1 首都圏のエネルギー供給を支援[◎]

・港湾機能強化等と協調し、定時性の確保とともに、輸送エリア・輸送量の増加等が期待され、首都圏へのエネルギー供給を支援。

【千葉港長期構想(案)(H28.11)に位置付け】

〔〇混雑度【現況】1.79 → 【整備後】1.09(約4割減少)〕

効果2 完成自動車の物流生産性の向上[◎]

・千葉市道路事業と連携し、輸送台数の効率化、輸送コスト削減等が期待され、物流生産性が向上。

〔〇千葉港⇒新車整備工場(茂原)の所要時間【現況】46分 → 【整備後】37分(約9分短縮)〕

【千葉市都市計画マスタープラン(H28.3)に位置付け】

効果3 千葉市が進める魅力ある都市づくりを支援[◎]

・年間来訪者数の更なる増加や商圏の拡大、来訪者の安全性の向上等が期待され、千葉市が目指す魅力的な都市づくりを支援。

〔〇市原市⇄蘇我副都心の往復時間【現況】60分 → 【整備後】45分(約15分短縮)〕
〔〇蘇我地区の死傷事故率【現況】64.4件/億台km → 【整備後】57.6件/億台km(約1割減少)〕

【千葉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(H28.2)に位置付け】

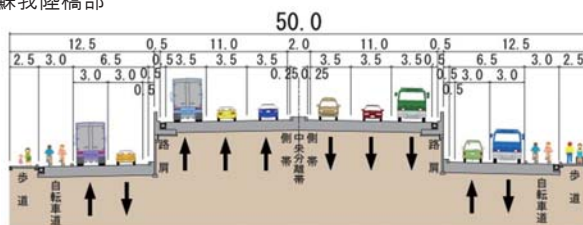
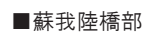
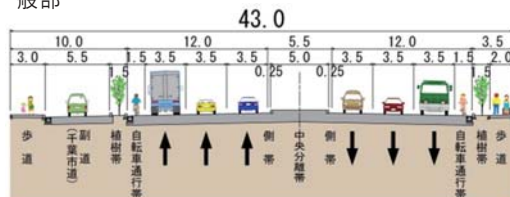
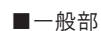
■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用: 189億円※2	総便益: 373億円※2
2.0	7.7%	・事業費: 180億円 ・維持管理費: 9.6億円	・走行時間短縮便益: 334億円 ・走行経費減少便益: 30億円 ・交通事故減少便益: 8.1億円

※1: EIRR: 経済的内部収益率

※2: 基準年(H28年)における現在価値記入(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

わんがん ち ば ち く かいりょう そ が ち く

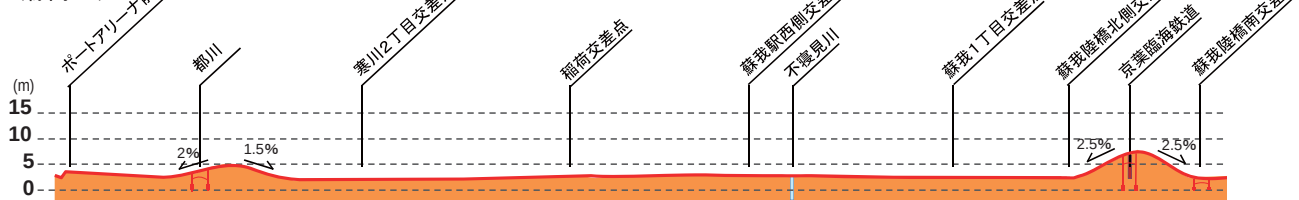


※都市計画幅員：W=43.0m～50.0m

全体延長: 5.0km
土工延長: 4.9km(98%)
橋梁延長: 0.1km(2%)



全体延長：5.0km 土工延長：4.9km (98%) 橋梁延長：0.1km (2%)



凡 例	
	対象区間
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	その他道路
	橋梁構造
	主要渋滞箇所 (● 対策実施済み)
	事故危険区間
	死亡事故発生箇所
	交通量 (H22センサス)
	交通量調査 (H28. 7)
	市街地 (人口集中地区)
	主な施設
	市町村境界線
	車線数 (2/4/6車線)
	津波浸水想定区域
	蘇我副都心
	千葉港
	(地高) 千葉中環状道路

※1)千華港節開は、千華港港灣計画図(H26.3)より図示

千葉県湾岸地域における計画段階評価

1. 蘇我地区の課題

①国道357号の交通渋滞

○当該地域の国道357号は、主要渋滞箇所が5ヶ所と連担しており、慢性的な渋滞が発生。（図1、写真1、2）

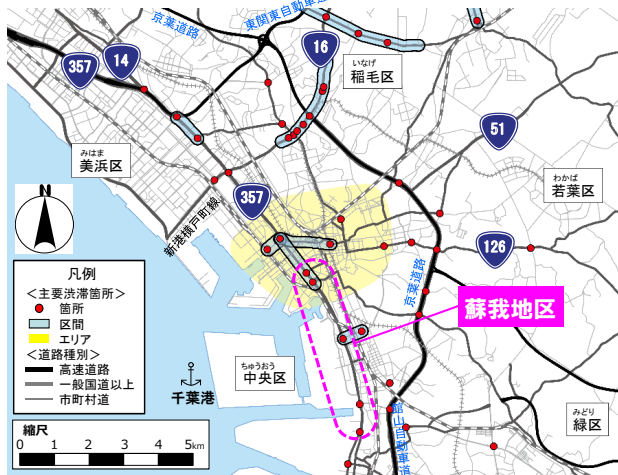


写真1: 稲荷交差点付近の交通混雑状況



写真2: 蘇我陸橋南交差点付近の交通混雑状況

②国道357号の交通事故

○当該地域の国道357号は、事故危険区間が6ヶ所と連担しており、中でも神明ポンプ場前では千葉県内の死傷事故率平均の約4倍と高い状況（図2、図3）



図2 国道357の事故危険区間

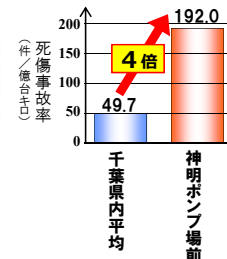


図3 死傷事故率

③千葉港へのアクセス

○千葉港は、首都圏の自動車流通の重要な拠点、日本有数のエネルギー集積地である等、経済・産業活動を支える国際拠点港湾であるが、国道357号蘇我地区の渋滞により、輸送エリア・輸送量等を阻害。（図4、図5）

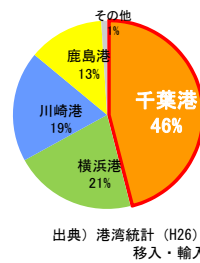


図4 首都圏各港原油移入・輸入割合

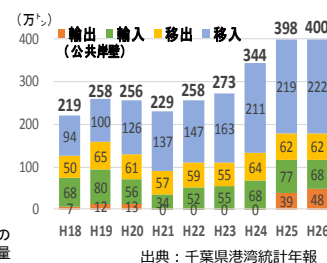


図5 完成自動車の取扱貨物量の推移

2. 原因分析

①国道357号の交通容量不足

○国道357号は、千葉港および蘇我副都心地区に隣接する重要なアクセス道路であるが、湾岸地域の交通集中、蘇我地区の車線数不足や信号交差点の連続により、交通容量が不足。（図5、図6）



図6 対象区間の交通状況(千葉地区開通後)

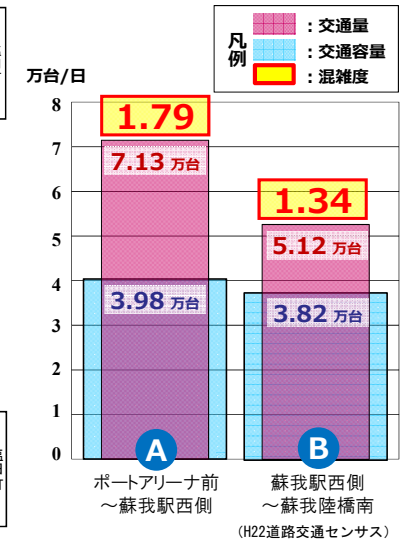


図7 対象区間の交通量と交通容量

②渋滞に起因する交通事故

○国道357号では、渋滞に起因する追突事故が多く発生（図8、図9）

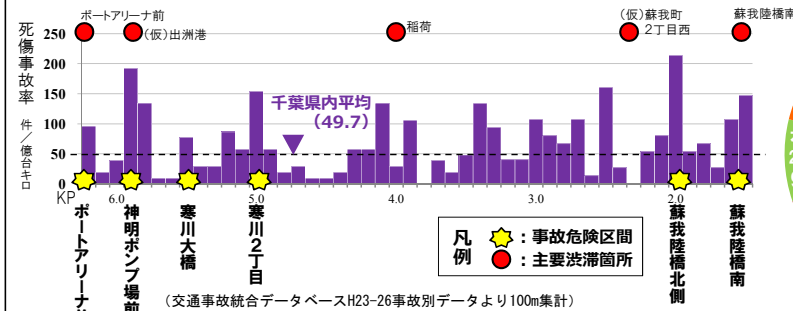


図8 対象区間の死傷事故率・事故危険箇所・主要渋滞箇所の関係(ポートアリーナ前～蘇我陸橋南)

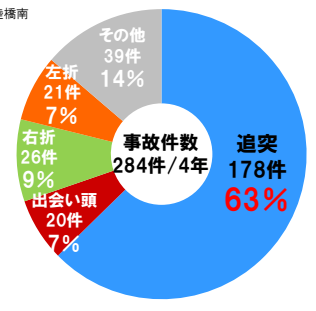


図9 事故類型別事故発生状況(ポートアリーナ前～蘇我陸橋南)

3. 政策目標

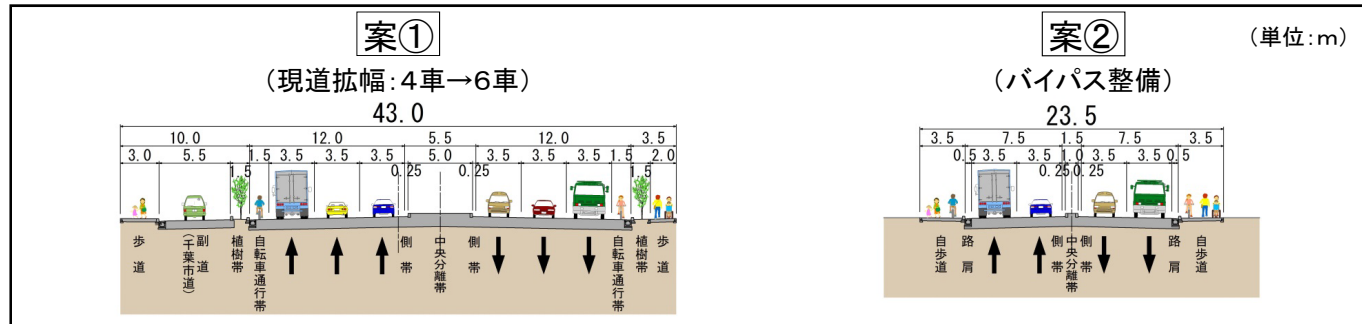
- ①交通容量の確保による交通渋滞を緩和
- ②交通渋滞に起因する交通事故の減少
- ③交通渋滞緩和による千葉港へのアクセス強化

千葉県湾岸地域における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価軸	【案①】現道拡幅(4車→6車)整備	【案②】バイパス整備 ※
①交通容量の確保による交通渋滞の緩和(指標:混雑度)	交通容量確保(現道拡幅)により、混雑度が低下 ○ 混雑度(交通量) ・国道357号 【現況】1.79 → 【整備後】1.09(約4割減少)	交通容量確保(バイパス)により、混雑度が低下 ○ 混雑度(交通量) ・国道357号 【現況】1.79 → 【整備後】1.32(約3割減少)
②交通容量の確保による交通事故の減少(指標:死傷事故率)	死傷事故率が軽減し、交通事故が減少 ○ 死傷事故率 ・国道357号 【現況】64.4件/億台km → 【整備後】57.6件/億台km(約10%減少)	死傷事故率が軽減し、交通事故が減少 ○ 死傷事故率 ・国道357号 【現況】64.4件/億台km → 【整備後】63.5件/億台km(約1%減少)
③速達性向上による円滑な輸送の確保(指標:所要時間)	市の道路事業との連携、走行速度の向上により、企業物流の所要時間が短縮 ○ 千葉港千葉中央地区(完成自動車モータープール) ⇒ 新車整備工場(茂原) ・【現況】46分 → 【整備後】37分(約9分短縮)	市の道路事業との連携、走行速度の向上により、企業物流の所要時間が短縮 ○ 千葉港千葉中央地区(完成自動車モータープール) ⇒ 新車整備工場(茂原) ・【現況】46分 → 【整備後】37分(約9分短縮)
④周辺環境への影響(指標:支障物件)	市街地における整備であるが、大規模な支障物件が少ない △ 支障物件数 96軒(うち大規模工場等支障物件 4軒)	海側へ新たな道路を整備するため、大規模な支障物件が多い △ 支障物件数 31軒(うち大規模工場等支障物件 13軒)
⑤自然環境の改変	○ 現道拡幅するため、自然環境の改変は少ない	△ 海側へ新たな道路を整備するため、自然環境の改変は大きい
コスト	○ 約265億円	× 約950億円
総合評価	○	×

※代替案の選定理由:山側エリアの代替ルートでは、鉄道や住宅密集等都市が形成されており社会的影響が大きいことから、埋め立てエリアである海側ルートを選定



対応方針(案):案①による対策が妥当

【計画概要】

■ 現道拡幅(4車→6車)整備

- ・ 路線名:一般国道357号
- ・ 区間:千葉市中央区塩田町～千葉市中央区問屋町
- ・ 概略延長:約5.0km
- ・ 標準車線数:6車線
- ・ 設計速度:60km/h
- ・ ルート:案①のとおり

(参考)当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

OS44年5月:都市計画決定

都市計画決定後の状況

OH27年10月:千葉県移動性向上プロジェクト委員会開催

OH29年2月:千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG開催

地域の要望等

OH27年7月:千葉市長から国土交通大臣に一般国道357号湾岸千葉地区改良(蘇我地区)の新規事業化に関する要望書を提出

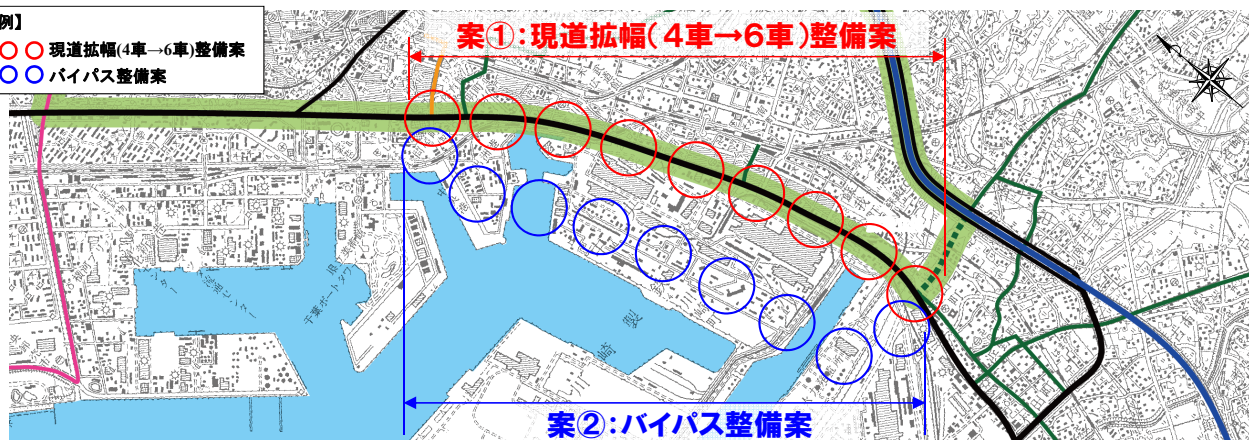
OH28年7月:千葉市長から国土交通大臣に一般国道357号湾岸千葉地区改良(蘇我地区)の新規事業化に関する要望書を提出

OH28年11月:千葉市長から財務大臣に一般国道357号湾岸千葉地区改良(蘇我地区)の新規事業化に関する要望書を提出

OH29年2月:千葉市長から財務副大臣に一般国道357号湾岸千葉地区改良(蘇我地区)の新規事業化に関する要望書を提出

【凡例】

- ○ ○ 現道拡幅(4車→6車)整備案
- ○ ○ バイパス整備案



費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道357号	湾岸千葉地区改良 (蘇我地区)	L = 5. 0km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
59, 100～78, 900	6	関東地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成28年度		
単純合計	248億円	37億円	285億円
基準年における 現在価値 (C)	180億円	9. 6億円	189億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成28年度			
供 用 年	平成42年度			
単年便益 (初年便益)	29億円	2. 6億円	0. 71億円	33億円
基準年における 現在価値 (B)	334億円	30億円	8. 1億円	373億円

③ 結 果

費用便益比（B／C）	2.0
経済的純現在価値（B－C）	183 億円
経済的内部収益率（E I R R）	7.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	59,100～78,900	±10%	1.8～2.2
事業費	248億円	±10%	1.8～2.2
事業期間	13年間	±3年	1.7～2.0

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道357号 湾岸千葉地区改良（蘇我地区）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 ： 5.0km		交通量※ ¹	[台/日]	46,700	67,900
		走行時間※ ²	[分]	6.73	6.22
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	58.46	77.85
②主な周辺道路※ ⁴	②-1 主) 千葉大網線 ： 2.7km	交通量	[台/日]	23,100	20,000
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	17.78	13.88
	②-2 千葉市道 (末広街道) ： 3.6km	交通量	[台/日]	24,300	18,000
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	25.27	16.38
	②-3 千葉市道 ： 2.0km	交通量	[台/日]	16,300	10,300
		走行時間	[分]	4	3
		走行時間費用	[億円/年]	11.73	5.62
	②-4 千葉市道 (公園北通り) ： 2.3km	交通量	[台/日]	18,600	12,900
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	16.24	8.65
③その他道路合計 ： 1983.9km		走行時間費用	[億円/年]	7,222.91	7,200.58

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1999.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,352.39	7,322.96	29.44

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道357号 湾岸千葉地区改良（蘇我地区）

(2)

項目		チェック欄			
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒			
	その他	☐			
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間			
	社会的割引率	4%			
	基準年次	平成28年度			
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)		
		複数時点での推計	☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載		
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐	
		その他()		☐	
				☐	
	開発交通量の 考慮	無		☒	
		有		☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載:	()台トリップ/日	
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分		☐	
		転換率式を用いた配分		☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐	
		簡易手法		☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である		☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない		☐
			その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)					
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出 においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。				
	最終配分の速度		☐		
	採用理由を記載				
	その他()		☐		

(3)

項目			チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	■		
	その他 (			

事業名：一般国道357号 湾岸千葉地区改良（蘇我地区）

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道357号 湾岸千葉地区改良(蘇我地区)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：一般国道357号 湾岸千葉地区改良(蘇我地区)					単価(億円)		延長(km)		単純価値(億円)	
					0.16		5		0.80	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)				
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値			
－14年目	H 28	1.0000	93.3							
－13年目	H 29	0.9615	93.3	0.46	0.45					
－12年目	H 30	0.9246	93.3	0.93	0.86					
－11年目	H 31	0.8890	93.3	1.39	1.23					
－10年目	H 32	0.8548	93.3	32.24	27.56					
－9年目	H 33	0.8219	93.3	32.24	26.50					
－8年目	H 34	0.7903	93.3	32.24	25.48					
－7年目	H 35	0.7599	93.3	21.26	16.16					
－6年目	H 36	0.7307	93.3	21.26	15.53					
－5年目	H 37	0.7026	93.3	21.26	14.94					
－4年目	H 38	0.6756	93.3	21.26	14.36					
－3年目	H 39	0.6496	93.3	21.26	13.81					
－2年目	H 40	0.6246	93.3	21.26	13.28					
－1年目	H 41	0.6006	93.3	21.24	12.76					
供用開始年次	H 42	0.5775	93.3			0.74	0.43			
1年目	H 43	0.5553	93.3			0.74	0.41			
2年目	H 44	0.5339	93.3			0.74	0.40			
3年目	H 45	0.5134	93.3			0.74	0.38			
4年目	H 46	0.4936	93.3			0.74	0.37			
5年目	H 47	0.4746	93.3			0.74	0.35			
6年目	H 48	0.4564	93.3			0.74	0.34			
7年目	H 49	0.4388	93.3			0.74	0.33			
8年目	H 50	0.4220	93.3			0.74	0.31			
9年目	H 51	0.4057	93.3			0.74	0.30			
10年目	H 52	0.3901	93.3			0.74	0.29			
11年目	H 53	0.3751	93.3			0.74	0.28			
12年目	H 54	0.3607	93.3			0.74	0.27			
13年目	H 55	0.3468	93.3			0.74	0.26			
14年目	H 56	0.3335	93.3			0.74	0.25			
15年目	H 57	0.3207	93.3			0.74	0.24			
16年目	H 58	0.3083	93.3			0.74	0.23			
17年目	H 59	0.2965	93.3			0.74	0.22			
18年目	H 60	0.2851	93.3			0.74	0.21			
19年目	H 61	0.2741	93.3			0.74	0.20			
20年目	H 62	0.2636	93.3			0.74	0.20			
21年目	H 63	0.2534	93.3			0.74	0.19			
22年目	H 64	0.2437	93.3			0.74	0.18			
23年目	H 65	0.2343	93.3			0.74	0.17			
24年目	H 66	0.2253	93.3			0.74	0.17			
25年目	H 67	0.2166	93.3			0.74	0.16			
26年目	H 68	0.2083	93.3			0.74	0.15			
27年目	H 69	0.2003	93.3			0.74	0.15			
28年目	H 70	0.1926	93.3			0.74	0.14			
29年目	H 71	0.1852	93.3			0.74	0.14			
30年目	H 72	0.1780	93.3			0.74	0.13			
31年目	H 73	0.1712	93.3			0.74	0.13			
32年目	H 74	0.1646	93.3			0.74	0.12			
33年目	H 75	0.1583	93.3			0.74	0.12			
34年目	H 76	0.1522	93.3			0.74	0.11			
35年目	H 77	0.1463	93.3			0.74	0.11			
36年目	H 78	0.1407	93.3			0.74	0.10			
37年目	H 79	0.1353	93.3			0.74	0.10			
38年目	H 80	0.1301	93.3			0.74	0.10			
39年目	H 81	0.1251	93.3			0.74	0.09			
40年目	H 82	0.1203	93.3			0.74	0.09			
41年目	H 83	0.1157	93.3			0.74	0.09			
42年目	H 84	0.1112	93.3			0.74	0.08			
43年目	H 85	0.1069	93.3			0.74	0.08			
44年目	H 86	0.1028	93.3			0.74	0.08			
45年目	H 87	0.0989	93.3			0.74	0.07			
46年目	H 88	0.0951	93.3			0.74	0.07			
47年目	H 89	0.0914	93.3			0.74	0.07			
48年目	H 90	0.0879	93.3			0.74	0.07			
49年目	H 91	0.0845	93.3	-37.41	-3.16	0.74	0.06			
合 計				210.88	179.74	37.04	9.56			
単純事業費計				248.29		37.04				

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道357号 湾岸千葉地区改良(蘇我地区)

年次 (基準年)	年度 H28	総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海7ローカ)					GDP テラータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)			合 計 (億円)	
		乗用車種別		貨物車種別				全 車	乗用車種別	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車種別	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)		
		H42	0.99976	0.99372	1.00237	0.99259															0.5775	93.3
供用開始年次	H 43	0.99965	0.99368	1.00236	0.99253	0.5553	93.3	19.58	3.36	6.28	29.23	16.23	1.83	0.04	0.75	2.62	1.45	0.39	32.55	18.07		
1年目	H 44	0.98954	0.99364	1.00236	0.99248	0.5339	93.3	19.38	3.34	6.30	29.02	15.49	1.81	0.04	0.75	2.60	1.39	0.38	32.32	17.26		
2年目	H 45	0.98943	0.99360	1.00235	0.99242	0.5134	93.3	19.18	3.32	6.31	28.81	14.79	1.79	0.04	0.75	2.58	1.33	0.36	32.09	16.47		
3年目	H 46	0.98932	0.99356	1.00234	0.99236	0.4936	93.3	18.97	3.30	6.33	28.60	14.12	1.77	0.04	0.75	2.56	1.27	0.34	31.86	15.73		
4年目	H 47	0.98920	0.99352	1.00234	0.99231	0.4746	93.3	18.77	3.28	6.34	28.39	13.48	1.75	0.04	0.75	2.55	1.21	0.69	31.62	15.01		
5年目	H 48	0.98909	0.99348	1.00233	0.99225	0.4564	93.3	18.57	3.26	6.36	28.18	12.86	1.74	0.04	0.75	2.53	1.15	0.68	31.39	14.33		
6年目	H 49	0.98896	0.99343	1.00233	0.99218	0.4388	93.3	18.37	3.23	6.37	27.97	12.28	1.72	0.04	0.76	2.51	1.10	0.68	31.16	13.67		
7年目	H 50	0.98884	0.99339	1.00232	0.99212	0.4220	93.3	18.16	3.21	6.39	27.76	11.72	1.70	0.04	0.76	2.49	1.05	0.67	30.93	13.05		
8年目	H 51	0.98872	0.99335	1.00232	0.99206	0.4057	93.3	17.96	3.19	6.40	27.55	11.18	1.68	0.04	0.76	2.48	1.00	0.67	30.70	12.45		
9年目	H 52	0.98859	0.99330	1.00231	0.99200	0.3901	93.3	17.76	3.17	6.42	27.35	10.67	1.66	0.04	0.76	2.46	0.96	0.66	30.47	11.89		
10年目	H 53	0.98846	0.99326	1.00231	0.99193	0.3751	93.3	17.56	3.15	6.43	27.14	10.18	1.64	0.04	0.76	2.44	0.92	0.65	30.23	11.34		
11年目	H 54	0.98832	0.99321	1.00230	0.99187	0.3607	93.3	17.35	3.13	6.45	26.93	9.71	1.62	0.04	0.76	2.42	0.87	0.65	30.00	10.82		
12年目	H 55	0.98818	0.99316	1.00230	0.99180	0.3468	93.3	17.15	3.11	6.46	26.72	9.27	1.60	0.04	0.77	2.41	0.83	0.64	29.77	10.32		
13年目	H 56	0.98804	0.99312	1.00229	0.99173	0.3335	93.3	16.95	3.09	6.48	26.51	8.84	1.58	0.04	0.77	2.39	0.80	0.64	29.54	9.85		
14年目	H 57	0.98790	0.99307	1.00229	0.99166	0.3207	93.3	16.74	3.06	6.49	26.30	8.43	1.57	0.04	0.77	2.37	0.76	0.63	29.31	9.40		
15年目	H 58	0.98775	0.99302	1.00228	0.99159	0.3083	93.3	16.54	3.04	6.51	26.09	8.04	1.55	0.04	0.77	2.35	0.73	0.63	29.07	8.96		
16年目	H 59	0.98760	0.99297	1.00227	0.99152	0.2965	93.3	16.34	3.02	6.52	25.88	7.67	1.53	0.04	0.77	2.34	0.69	0.62	28.84	8.55		
17年目	H 60	0.98744	0.99292	1.00227	0.99145	0.2851	93.3	16.14	3.00	6.54	25.67	7.32	1.51	0.04	0.78	2.32	0.66	0.62	28.61	8.16		
18年目	H 61	0.98728	0.99287	1.00226	0.99138	0.2741	93.3	15.93	2.98	6.55	25.46	6.98	1.49	0.04	0.78	2.30	0.63	0.61	28.38	7.78		
19年目	H 62	0.98712	0.99282	1.00226	0.99130	0.2636	93.3	15.73	2.96	6.57	25.26	6.66	1.47	0.04	0.78	2.28	0.60	0.61	28.15	7.42		
20年目	H 63	0.98695	0.99277	1.00225	0.99122	0.2534	93.3	15.53	2.94	6.58	25.05	6.35	1.45	0.04	0.78	2.27	0.57	0.60	27.92	7.07		
21年目	H 64	0.98678	0.99272	1.00225	0.99115	0.2437	93.3	15.33	2.92	6.60	24.84	6.05	1.43	0.04	0.78	2.25	0.55	0.60	27.68	6.75		
22年目	H 65	0.98660	0.99266	1.00224	0.99107	0.2343	93.3	15.12	2.89	6.61	24.63	5.77	1.41	0.03	0.78	2.23	0.52	0.59	27.45	6.43		
23年目	H 66	0.98642	0.99261	1.00224	0.99099	0.2253	93.3	14.92	2.87	6.63	24.42	5.50	1.39	0.03	0.79	2.22	0.50	0.59	27.22	6.13		
24年目	H 67	0.98623	0.99255	1.00223	0.99090	0.2166	93.3	14.72	2.85	6.64	24.21	5.24	1.38	0.03	0.79	2.20	0.48	0.58	26.99	5.85		
25年目	H 68	0.98604	0.99250	1.00223	0.99082	0.2083	93.3	14.52	2.83	6.65	24.00	5.00	1.36	0.03	0.79	2.18	0.45	0.58	26.76	5.57		
26年目	H 69	0.98584	0.99244	1.00222	0.99074	0.2003	93.3	14.31	2.81	6.67	23.79	4.76	1.34	0.03	0.79	2.16	0.43	0.57	26.53	5.31		
27年目	H 70	0.98564	0.99238	1.00222	0.99065	0.1926	93.3	14.11	2.79	6.68	23.58	4.54	1.32	0.03	0.79	2.15	0.41	0.57	26.29	5.06		
28年目	H 71	0.98543	0.99232	1.00221	0.99056	0.1852	93.3	13.91	2.77	6.70	23.37	4.33	1.30	0.03	0.79	2.13	0.39	0.56	26.06	4.83		
29年目	H 72	0.98521	0.99226	1.00221	0.99047	0.1780	93.3	13.70	2.75	6.71	23.16	4.12	1.28	0.03	0.80	2.11	0.38	0.55	25.83	4.60		
30年目	H 73	0.98499	0.99220	1.00220	0.99038	0.1712	93.3	13.50	2.72	6.73	22.96	3.93	1.26	0.03	0.80	2.09	0.36	0.55	25.60	4.38		
31年目	H 74	0.98476	0.99214	1.00220	0.99029	0.1646	93.3	13.30	2.70	6.74	22.75	3.74	1.24	0.03	0.80	2.08	0.34	0.54	25.37	4.18		
32年目	H 75	0.98453	0.99208	1.00219	0.99019	0.1583	93.3	13.10	2.68	6.76	22.54	3.57	1.22	0.03	0.80	2.06	0.33	0.54	25.13	3.98		
33年目	H 76	0.98428	0.99202	1.00219	0.99009	0.1522	93.3	12.89	2.66	6.77	22.33	3.40	1.21	0.03	0.80	2.04	0.31	0.53	24.90	3.79		
34年目	H 77	0.98403	0.99195	1.00219	0.98999	0.1463	93.3	12.69	2.64	6.79	22.12	3.24	1.19	0.03	0.81	2.02	0.30	0.53	24.67	3.61		
35年目	H 78	0.98377	0.99189	1.00218	0.98989	0.1407	93.3	12.49	2.62	6.80	21.91	3.08	1.17	0.03	0.81	2.01	0.28	0.52	24.44	3.44		
36年目	H 79	0.98351	0.99182	1.00218	0.98979	0.1353	93.3	12.29	2.60	6.82	21.70	2.94	1.15	0.03	0.81	1.99	0.27	0.52	24.21	3.28		
37年目	H 80	0.98323	0.99175	1.00217	0.98969	0.1301	93.3	12.08	2.58	6.83	21.49	2.80	1.13	0.03	0.81	1.97	0.26	0.51	23.98	3.12		
38年目	H 81	0.98294	0.99169	1.00217	0.98958	0.1251	93.3	11.88	2.55	6.85	21.28	2.66	1.11	0.03	0.81	1.95	0.24	0.51	23.74	2.97		
39年目	H 82	0.98265	0.99162	1.00216	0.98947	0.1203	93.3	11.68	2.53	6.86	21.07	2.53	1.09	0.03	0.81	1.94	0.23	0.50	23.51	2.83		
40年目	H 83	0.98234	0.99155	1.00216	0.98936	0.1157	93.3	11.48	2.51	6.88	20.87	2.41	1.07	0.03	0.82	1.92	0.22	0.50	23.28	2.69		
41年目	H 84	0.98202	0.99147	1.00215	0.98924	0.1112	93.3	11.27	2.49	6.89	20.66	2.30	1.05	0.03	0.82	1.90	0.21	0.49	23.05	2.56		
42年目	H 85	0.98169	0.99140	1.00215	0.98912	0.1069	93.3	11.07	2.47	6.91	20.45	2.19	1.03	0.03	0.82	1.88	0.20	0.49	22.82	2.44		
43年目	H 86	0.98135	0.99133	1.00214	0.98900	0.1028	93.3	10.87	2.45	6.92	20.24	2.08	1.02	0.03	0.82	1.87	0.19	0.48	22.58	2.32		
44年目	H 87	0.98100	0.99125	1.00214	0.98888	0.0989	93.3	10.67	2.43	6.94	20.03	1.98	1.00	0.03	0.82	1.85	0.18	0.47	22.35	2.21		
45年目	H 88	0.98063	0.99117	1.00213	0.98876	0.0951	93.3	10.46	2.41	6.95	19.82	1.88	0.98	0.03	0.82	1.83	0.17	0.47	22.12	2.10		
46年目	H 89	0.98025	0.99109	1.00213	0.98863	0.0914	93.3	10.26	2													

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道357号	湾岸千葉地区改良(蘇我地区)	6	5.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					12,595	
	改良費				7,180	
		土工	m3	224,771	689	
		軟弱地盤改良工	m3	11,210	1,815	
		法面工	m²			
		擁壁工	式	1	2,406	蘇我陸橋の前後区間
		管渠工	m			
		函渠工	m	56	39	各横断水路の延伸
		排水工	m	11,110	548	
		中央分離帯工	m	10,000	202	
		雑工	式	1	1,482	撤去、植樹、仮設費込み
	橋梁費				814	
		100m以上	m			
		100m未満	m	102	814	蘇我跨線橋、生浜連絡路陸橋、蘇我陸橋南側道橋
	舗装費				2,091	
		車道舗装	m²	142,722	1,888	全層は拡幅部のみ、表層は全幅
		歩道舗装	m²	27,879	202	
	付帯施設費				989	
		交通管理施設工	式	1	545	
		遮音壁工	m	2,000	444	
	電線共同溝				1,521	
		電線共同溝	m	7,307	1,521	
②用地及補償費				10,146		
	用地費		m²	20,504	3,741	
		宅地	m²	19,285	3,664	
		田畑	m²			
		山林・原野	m²	1,219	77	
		その他	m²			
	補償費	式	1	6,405		
③間接経費		式	1	3,775	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
全体事業費				26,516		

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道357号	湾岸千葉地区改良 (蘇我地区)	6	5.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.0	1,100	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,900	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,000	